



# 大森二中だより

令和4年度 大森二中の合言葉「思いやり」  
スローガン 笑顔満開 いつも心に太陽を！

令和4年度  
令和5年1月号  
大森第二中学校  
校長 成清敏治  
電話 3762-6456

## 見えない努力や苦労が人をつくる！

2023年(令和5年)がスタートしました。新年の決意はできたでしょうか。今年1年をどんな年にするか、大事な3学期です。この年末年始は3年ぶりに規制のない日々でした。旅行に出かけたり、田舎へ帰ったりした人もいます。少しはリフレッシュして今日を迎えることができましたか。清新(清く新しい)な気持ちは、自身の生き方を変えていく原動力になります。昨年までとはここが違うぞ、と言えるような決意と行動で、毎日決意しなおすぐらいの気持ちをもって、良いスタートをきっていきましょう。

学校の区切りは3月で終わり、4月から新しい学年になります。この3学期は1年間のまとめであり、1年間を振り返る時でもあります。その時に自分の周囲に目を向けてもらいたいと思います。周囲は心の余裕がない見ることができません。どれだけの人に支えてもらったのか、励ましてもらったのか。自分が身に着けている制服や学習する教科書や資料集、ノート、この体育館や校舎、教室の机やイス、誰かが作ってくれた目に見えるものを使用して皆さんは学校生活を送り、日々学習をしています。そして目に見えないもの。たとえば、保護者や先生方からの叱咤激励や元気づけてくれる言葉や態度など。それによって皆さんの行動に影響を与えていることもあるはずです。

3年生は進路選択を決定し、次のステップに向かう大事な時期です。義務教育も修了します。登校も50回ちょっと。大森二中での思い出を築いてください。2年生は中堅学年、そして二中の顔としての学年です。皆さんの社会での評価がそのまま二中の評価になります。社会性を身に付け、来年の進路選択がスムーズにいくよう、今から少しずつ準備を進めてください。そして1年生、厳しい言葉を学年集会でかけましたが、それは期待の裏返しです。思いやりをどうしたらもてるのか、良い学年になるにはどうすればよいか、みんなで考えてください。あと半年もすれば、部活動でも生徒会や委員会でも1年生が中心になります。身近な学年を大事にできない人が全体を大事にできるわけがありません。社会科見学や職場体験を通して、自分や他者を知る機会を大事にしてください。

桜は、つぼみの今の時期、寒さに耐えて、花を咲かせるための準備をしています。つぼみの中は見えません。しかし時季が来たら、一斉にきれいな花を咲かせます。その方程式からわかると思いますが、見えない努力・苦労が1番大事です。人間も同じです。この冬は次への準備期間です。感謝の心をもって、年頭の決意を確認し、次への準備をしっかりとっていきましょう。

(始業式 1月10日)